

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	伊丹市立伊丹特別支援学校 教諭 門脇 陽一	研究グループ名 ( 自主専門研究会 )
-------------	--------------------------	------------------------

研究テーマ分類番号 ( 17 )

(1)研究テーマ	
特別支援教育の専門性の向上を目指して ～アセスメントの方法と活用～	
(2)研究経過及び具体的な取組	
6月11日	今年度の活動計画についての検討 ・場 所：伊丹市立伊丹特別支援学校 ・内 容：今年度の活動方針について意見を出し合い、今年度の活動計画を検討した。
6月27日	研修会 ・場所：伊丹市立伊丹特別支援学校 ・内 容：発達検査を用いた客観的な実態把握について 認知機能や発達検査などのアセスメントについて講義を受けた。 ・講 師：京都教育大学教授 ・成 果：WISC - などの検査結果の活用など、具体的な方法について学ぶことができた。
7月 4日	グループワーク ・場所：伊丹市立伊丹特別支援学校 ・内 容：認知学習を通した子どもの実態のとらえ方 認知学習、マッチング学習（同一見本合わせ課題）について研修した。 ・講 師：伊丹市立伊丹特別支援学校長 ・成 果：教員の普段の指導について協議し、全体を見通したアセスメントについて共通理解することができた。
7月27日	グループワーク ・場 所：伊丹市立伊丹特別支援学校 人数：9人 ・内 容：感覚運動学習における見立てと指導の実際 感覚運動面での実態把握の仕方、前庭覚、固有覚といった理論的な背景について講話を受けた。 ・講 師：伊丹市立伊丹特別支援学校教諭 ・成 果：講話の後、子どもたちの実態について協議し、具体的な指導方法を検討することで、今後の対応等について明らかにすることができた。
10月10日	研修会 ・内 容：スヌーズレンの指導の実際 子ども主体の環境設定について、講話を受けた。 ・場 所：伊丹市立伊丹特別支援学校 ・講 師：総合教育センター指導主事 ・成果と課題：スヌーズレンで用いる教具・教材の具体的な使い方や指導方法について学習し、活用について理解を深めることができた。